令和５年第１回　柳井市議会定例会　一般質問内容

質 問 者	質問事項及びその要点	答弁を求める者
［1］　岩 田　優 美　議員		
	１　子育て支援について	市長、教育長 関係参与
	（１）昨年の１２月の一般質問において、子育て世代の支援だけでなく人口定住対策としても効果があるのではと「給食費の無償化」をお願いいたしました。市長は答弁で、５年度は子育て世代の人口定住を促進する制度を考えている。その中で、経済的負担の大きい中学生の給食費の無償化を検討するとのことでした。 　４月１日にはこども家庭庁が設置されます。これからの子育て支援についてお尋ねいたします。 ①小中学校の給食費の無償化の今後の計画はどうなっているのですか。 ②小学生の学力向上のための支援を具体的に説明してください。 ③地元定住を促進する支援策について詳しく説明してください。 ④考え方の閉鎖が大きいといわれる地方にあって、少子化対策をどう考えているのかを市長にお尋ねいたします。	
	２　水道料金について	市長、関係参与
	（１）昭和５３年の干ばつなど水不足に悩まされてきた柳井市は、広島県の弥栄ダムから平成１３年４月、柳井地域広域水道企業団の供給により水不足は解消されました。当時を知っている市民は水道料金が高い理由をある程度理解していますが、他市から来た人は一様に驚きます。そこでお尋ねいたします。 ①柳井市の水はなぜ高いのか。 ②なぜ今回値上げするのか。 ③給水区域を拡大できない理由は何か。	
［2］　田 中　晴 美　議員		
	１　柳井市のゼロカーボンシティ宣言について	市長、関係参与
	（１）ゼロカーボンシティ宣言をされているが、どのような取り組みを考えておられるかをお伺いいたします。	
	２　複合図書館の完成後における運営について	市長、教育長 関係参与
	（１）複合図書館完成後においてどの様にして多くの市民にご来館頂くか、計画があればお伺いいたします。 　例えば期限を切ってでもいいので、周辺部の方々にご来館いただくためにも、シャトルバスなど走らせることはできないだろうかお伺いいたします。	
［3］　川 﨑　孝 昭　議員		
	１　柳井市のマイナンバーカード普及の取り組みについて	市長、関係参与
	（１）高齢者等への制度の周知と理解促進について （２）交通弱者や高齢者など、支援が必要な人への配慮について	

（３）マイナンバーカードが普及したことによるメリットについて

２　柳井市の企業誘致の取り組みについて　市長、関係参与

（１）柳井市が取り組んできた企業誘致について

（２）企業誘致がすすんだことによって柳井市にもたらされる利益について

（３）今後の企業誘致推進のための用地の確保などはどうするのか

［４］　君 国　泰 照　議員

１　柳井市長の任期前半の市政運営の成果及び評価について　市長

（１）ドラッカーのコップの水に例えると、市政運営の前半の成果については、コップの水はまだ半分も残っているか、半分しか残っていないかをお尋ねいたします。

２　市長の任期後半の４期の総仕上げについて　市長

（１）任期後半の市政運営と４期の総仕上げを如何に遂行するか。

　市民の暮らしを守り喫緊の課題である人口減少、少子高齢化と福祉。

　物価高騰による水道、電気、食料品等の値上げの不安材料を払拭して市民の要望や期待に応え、その渇きをコップの水で癒やすことは可能か。

　市長の今後の実績や評価が得られれば再度５選を目指されるか。

　世代交代の道を選ばれるのか。

　ＮＨＫの大河ドラマではないが「どうする健太郎」今後の市政運営と将来の柳井市をどのように導いて行かれようとするのかをお尋ねいたします。

［５］　岡 村　茂 樹　議員

１　市営住宅の有効利用について　市長、関係参与

（１）人口減少に伴い市営住宅の空き室が目立ってきているのではないかと思いますので、市営住宅の空き室の状況についてお伺いいたします。

（２）空き室が比較的新しいものについては、部屋の改修等を行って、子育て世代の方に住んでいただくような有効利用はできないかお伺いいたします。

（３）子育て世代の方に特化した市営住宅の募集は実施していますか、また、募集するにあたって収入基準等を少しでも緩和できないかお伺いいたします。

２　消防水利の計画的な整備について　市長、関係参与

（１）水道施設がある地域には、消火栓等が設置されていますが、水利等が無い地域においては、どのような基準で消防水利を設置しているのかお伺いいたします。

［6］　坂ノ井　徳　議員

1　図書館建設に関して総括として３点伺う	市長、教育長
（1）最終的に合併特例債を幾ら行使したのか。	関係参与
（2）入札の際委員会が設けられたが議員は一人たりともメンバーに加わらず落札のみが聞かされた。この辺の説明を求める。	
（3）図書館利用者、年１０万人本当に確保出来るのか。	
2　学校教育について	教育長、
（1）柳井市小中学校教育条件等整備充実についての陳情書の改善について進捗状況を伺う。	関係参与
3　今後の柳井市の発展策について	市長
（1）コロナが収束に向かっている今、市長は柳井市の活性化をどの様に考えておられるか伺う。	

［7］　藤 沢　宏 司　議員

1　過疎法について	市長、関係参与
（1）過疎地域に指定され負のイメージが強いが、過疎法が利用できるメリットはないのか。	
（2）過疎法を利用して、過疎地域の指定解除にむけた取組みはどのような事があるのか。	
2　スポーツを利用したまちづくりについて	市長、教育長
（1）柳井商工高等学校のバドミントン部をはじめ他のスポーツでも活躍が見られるが、これらを利用したまちづくりを考えてはどうか。	関係参与
（2）大会会場や雨天練習場、練習場宿泊施設等の整備が必要ではないか。	
3　道路について	市長、教育長
（1）道路の舗装が悪い、ラインが消えて見えない、除草がされていない。歩行者が歩きやすく、自動車が運転しやすい安全な道路にすべきでないか。	関係参与

［8］　岡 本　泰 行　議員

1　再生可能エネルギーによる地域再生について	市長、関係参与
（1）上関原発の現状、今後の展望について政府のＧＸ実現に向けた基本方針に原発の建て替えは廃炉の決定した敷地内と明記されるようです。将来の建設計画も小型原子炉や核融合に移行し大型原発は不要になると思います。世界的にも脱炭素社会に向けて急速に水素利用研究が進められています。市のお考えをお聞きします。	
（2）電力永続地帯について	
①再生可能エネルギーで電力を自給出来る電力永続地帯の市町村が 1 割を超えています。世界初の竹チップ発電所も山陽小野田に建設中です。当市には適地と思われる太陽光発電のメリット、デメリットについて、ダムによる小水力発電の可能性につ	

いて、ご意見をお聞かせください。

2　空き家対策について　市長、関係参与

（1）家屋件数及び空き家件数。放置家屋の対策についてお聞きします。

［9］　下 村　太 郎　議員

1　水道事業の方向性について　市長、関係参与

（1）柳井市の水道料金は本年12月より県内で最も高くなる見込みです。今後の水道事業整備の方向性と料金の見込みについて伺います。

2　保育環境整備の方向性について　市長、教育長 関係参与

（1）柳井市内の幼稚園が来年4月より1園になる中で、市街地の保育所への入所希望者が想定よりも増加すると思われます。市街地の保育環境整備の方向性を伺います。

3　市職員の人権を保護する取り組みについて　市長、関係参与

（1）ハラスメント行為から市職員の人権を保護する取り組みの内容・頻度について伺います。

［10］　平 岡　実千男　議員

1　マイナンバーカードの運用及び体制について　市長、関係参与

（1）柳井市では、マイナンバーカードの申請率が上がり、多くの方々が利用できる様になりました。

今後は、利用促進を推し進めていくことが大切です。

柳井市では、どのような運用及び体制づくりをしていくのかお伺いします。

2　新型コロナウイルス感染症対策について　市長、教育長 関係参与

（1）令和5年3月13日以降のマスクの着用の考え方について、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねられます。

柳井市では、どのような体制をしていくのかお伺いします。

（2）新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、5月8日から新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づけされます。

柳井市では、どのような体制をしていくのかお伺いします。

［11］　中 川　隆 志　議員

1　上関原子力発電所建設計画について　市長、関係参与

（1）先の上関町長選挙は原発に頼る町づくりをするのか頼らない町づくりをするのかが大きな争点になり、原発に頼る候補が当選した。その際に市長は新町長の隣で万歳をされた。この様子は山口県のみならずテレビやSNS等を通じて日本全国に拡散され、原発に頼る人たちからも頼らない人たちからも柳井市長は原発推進派と見られるようになった。市長は上関原子力発電所の建設を容

認するのか。
（２）柳井市はゼロカーボンシティを宣言しているが、市長はゼロカーボンを実現するために原子力発電は必要と考えているか。

２　宣言から１年が経過した柳井市ゼロカーボンシティ宣言について　　市長、教育長　関係参与

（１）柳井市ゼロカーボンシティ宣言では、市民、行政、事業者の連携が掲げられているが、この三者による連携はこの１年間どのように進捗したか。
（２）柳井市の象徴的ともいえる現在建設中の図書館にいかなるゼロカーボンの取り組みを行うのか。
（３）改築予定のバタフライアリーナに対するゼロカーボン対策はあるか。
（４）平成２７年に策定した柳井市水道ビジョンでは、取り組むべき具体的な方策として受水点の水頭差を利用した小水力発電を検討対象にしているが、どのような検討をしていかなる結論になったか。

［１２］ 三 島　好 雄　議員

１　やまぐちフラワーランドについて　　市長、関係参与

（１）２００６年に開園したやまぐちフラワーランドは、今や「交流人口の拡大」の最先端を走っていると私は思います。
　もちろん、柳井市観光のキラーコンテンツは金魚ちょうちんですが、正月イベントや、県内商店街との連携や、バラの名所めぐりなどの広域連携もおこなっています。
　オープン当初から今日まで頑張っている園芸療法士は、「花がもたらす癒し」などをテーマに、県内で巡回講座を実施して、よく知られているのは、徳山動物園や下関の水族館との連携は有名であります。柳井市として、このフラワーランドを今後、どのように売り出し、さらなる交流活動をされるのかうかがいたい。
①フラワーランドプレミアムパスポート（５，０００円）を作ったらどうか。
②観光ＰＲで東京へ行き金魚ちょうちんづくり教室をやるようなときは、フラワーランドの職員も参加しコケ玉づくり教室などを行い、金魚ちょうちんと花のまち柳井をＰＲしたらどうか。

２　柳井市ふるさと観光大使の活用について　　市長、関係参与

（１）ふるさと観光大使は、他の自治体の場合、テレビに出演している芸能人などが多いが、柳井市の場合は、「ふるさと観光大使設置要綱」で「様々な分野で活躍している者を通して、市の魅力を発信し、交流人口の拡大及び観光振興を図るため、柳井市ふるさと観光大使を設置する」とし、市出身者又はゆかりがあり、市の魅力を宣伝する者となっている。現在の観光大使の数は６９人ですが、これらの方々がどのような活動をされているのかうかがいたい。
①ふるさと観光大使について現在は書面で年１回の連絡になっているが、柳井広域の人は一堂に会して意見交換などをしたらど

うか。
②要綱の第１条の内容がわかりにくいので説明していただきたい。
③複合図書館が完成したときなど声をかけてはどうか。連携方法はＬＩＮＥのネットワークを作り、観光ＰＲができるようにしてはどうか。

［１３］ 長 友　光 子　議員

１　加齢性難聴者の補聴器購入の補助について　市長、関係参与

（１）高齢者の２人に１人は難聴であるといわれています。高齢者が補聴器を使用することは一人ひとりの生活の質を保障するうえでも、社会参加の促進・認知症予防・うつ病予防・介護予防という意味でも非常に重要です。しかし補聴器は平均価格が１５万円以上と高額で「購入する経済的余裕がない」という声が上がっています。補聴器購入の補助が急がれるのではないでしょうか。

２　帯状疱疹ワクチン接種の補助について　市長、関係参与

（１）帯状疱疹は強い痛みをともない、大人の９０％以上がかかる可能性のある病気です。５０歳～８０歳までに３人に１人が発症します。ワクチン接種は予防に効果が認められていますが、任意で高額です。助成が必要ではないでしょうか。

３　国民健康保険税の均等割の１８歳までの減免について　市長、関係参与

（１）以前より、国民健康保険税の高さに悲鳴が上がっています。子育て支援に逆行する子どもの均等割は、１８歳まで全額免除が必要ではないでしょうか。物価高騰のこの時期、急がれるのではないでしょうか。